

令和2年度地域包括支援センター(高齢者相談センター)の評価結果について

[評価結果]

1. 対象

市内5か所の地域包括支援センター(高齢者相談センター)(以下「センター」という。)

2. 評価期間

令和元年度(平成31年4月1日～令和2年3月31日)の期間について評価する。

3. 経過

6月11日～6月30日 各センターによる自己評価の実施

8月3, 4, 5, 19日 現地調査

4. 実施内容

(1) 評価項目について

ア 大項目6本を柱とする評価項目を設定し、97項目の評価指標を設定した。

イ 大項目の内容、中項目や評価指標の数は、【表1】のとおり。

ウ 中項目や評価指標については、3～8ページに記載の【資料1】令和2年度習志野市地域包括支援センター(高齢者相談センター)評価一覧に記載のとおり。

【表1】大項目の内容、中項目や評価指標の数

大項目	中項目	評価指標
I. 運営体制と共通的基盤業務	11	33
II. 総合相談支援業務	7	21
III. 権利擁護業務	6	18
IV. 包括的・継続的ケアマネジメント	3	9
V. 介護予防ケアマネジメント	2	6
VI. その他、地域包括ケアシステム、認知症施策等	3	10
合 計	32	97

(2) 令和元年度の重点運営事項の取組み状況について

次のア～ウの項目について、進捗状況を訪問調査時に聞き取り確認した。

ア 地域ケア会議の充実

イ 生活支援サービス体制整備に関する取組み

ウ 認知症総合支援事業に関する取組み

## 5. 結果

### (1) 評価基準

高齢者相談センター 5段階 評価基準	
評価A	評価指標を上回る取り組みを行って大きな成果を上げている。
評価B	評価指標に示された取り組みを行って一定の成果を上げている。
評価C	評価指標に示された取り組みを行っている。
評価D	評価指標に示された取り組みの検討をしているが着手していない。
評価E	評価指標に示された取り組みを行う検討がなされていない。

### (2) 評価結果

ア 各センターにおける大項目ごとの評価において、評価Aから評価Eまでの割合は【グラフ1】のとおりであった。なお、いずれのセンターにおいても、評価指標において、評価がD又はEとなるものはなかった。

イ 各センターにおける評価指標ごとの評価は3～8ページに記載のとおりであった。

【グラフ1】 令和2年度評価 評価結果の割合（A～E）

